

# 地域公共交通に関するアンケート結果

問合せ  
企画財政課  
☎47-8013

バスの利用向上と効率的運行を目的に、9月15日から30日まで、利用状況と運行内容の評価、今後の在り方に対する意識を把握するため、アンケート調査を実施しましたのでその結果をお知らせします。  
無作為に抽出した住民2,500人に郵送でアンケートをお願いしたところ、1,018人から回答(回収率41%)をいただきました。今後のバス運行に反映していくための貴重なご意見、資料とさせていただきます。  
アンケート調査へご協力いただき、ありがとうございました。

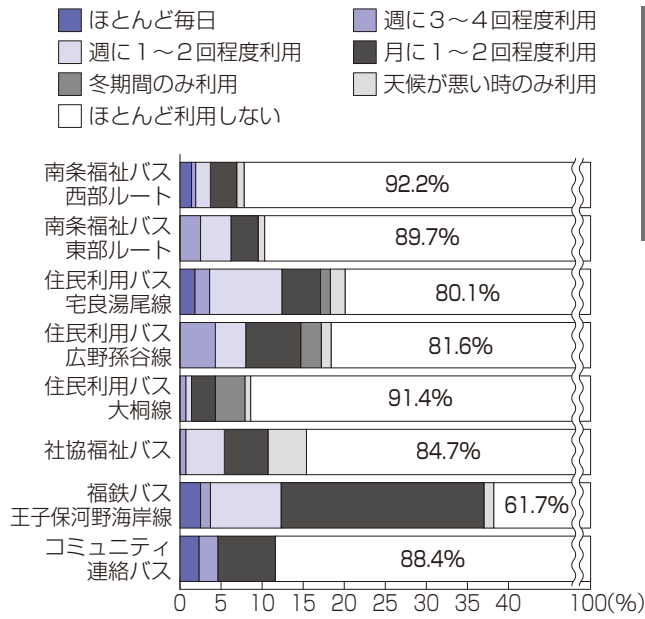
## ①バスの利用実態と評価

バスの利用頻度については、各地区の住民ともに利用者は少なく、「月1〜2回程度」および「週1〜2回程度」の利用が多くなっています。

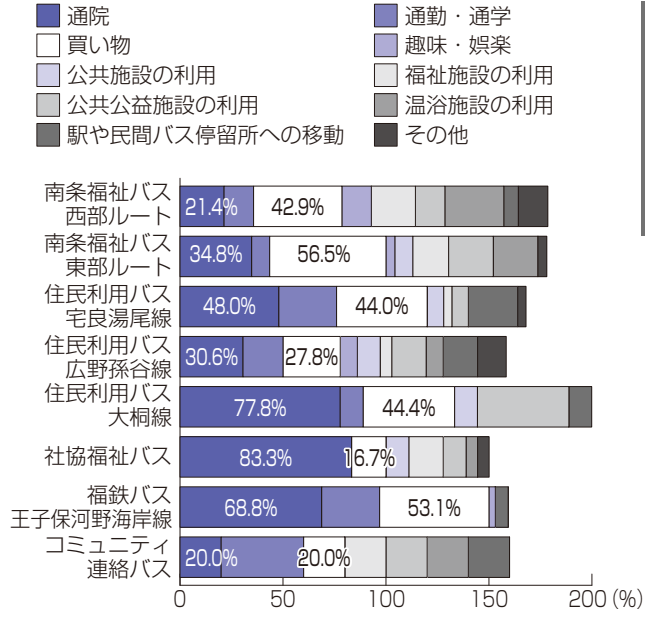
利用目的は、「通院」および「買い物」が大半を占めています。また、バスを利用しない理由については、約8割の方が「自分で自動車を運転するから」となっています。

バスの評価については、評価の悪い項目は、南条福祉バスでは「バス停」、今庄住民利用バスでは「運行日、運行間隔」、社協福祉バスと福鉄バスでは「運行間隔」となっています。また、ほとんどのバスで「運転手の対応」が良い評価となっています。

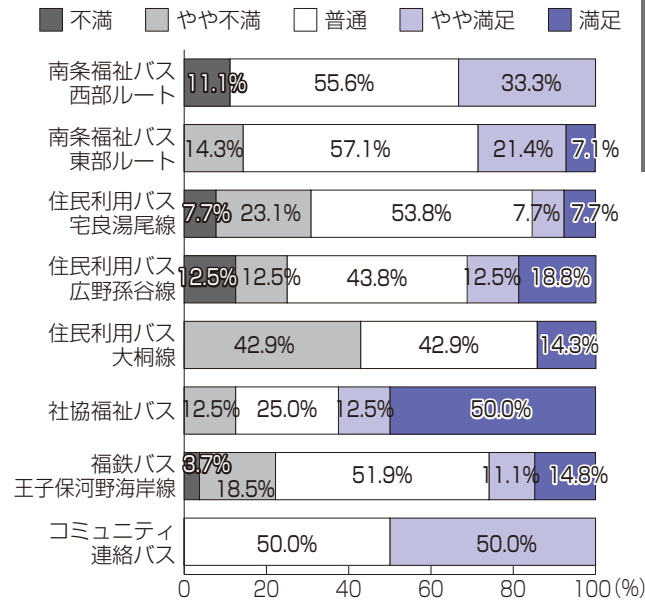
### バスの利用頻度



### バスの利用目的



### バスの評価

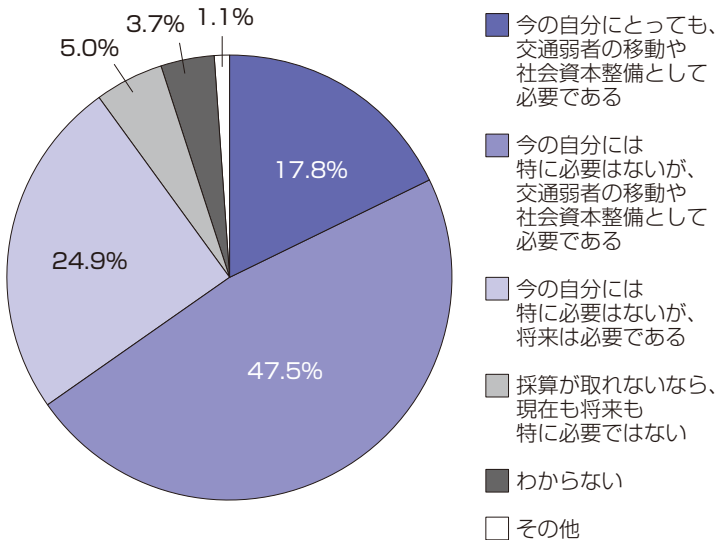


## ②今後のバスの利用や必要性

外出時にバスを利用し、できるだけ車の利用を控えることについては、約半数の方が「今後も車を利用しない生活は考えられない」と考えていますが、約2割の方は「数年後には車の利用を控え、バスを利用したい」と考えています。

町内を運行するバスの必要性については、約半数の方が「今の自分には特に必要はないが、交通弱者の移動や社会資本整備として必要である」と考えており、合計約9割の方が「バスは必要である」と考えています。

### バスの必要性



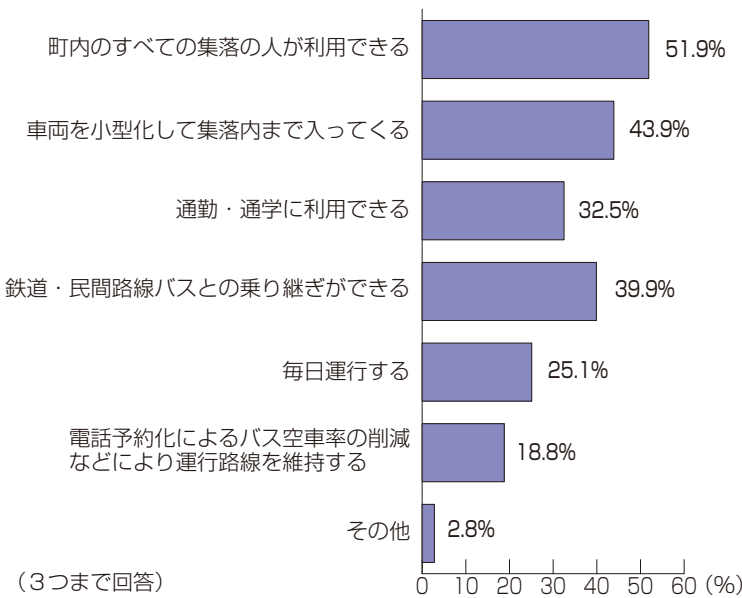
## ③町が運行しているバスの再編・統一

各地区のバスの再編・統一については、約4割の方が「利用者は無料ではなく、一律の料金(有料)とすべき」と考えています。

1回当たりの運賃の上限については、約半数の方が「100円/回」と考えています。

バスの再編・統一で重視する点については、約半数の方が「町内のすべての集落の人が利用できる」、次いで約4割の方が「車両を小型化して集落内まで入ってくる」「鉄道・民間路線バスとの乗り継ぎができる」と考えています。

### バスの再編・統一で重視する点



## ④河野地区と南条地区をつなぐ新たなバス(ホノケ山トンネル開通後)

利用頻度については、約8割の方が「ほとんど利用しない」、約1割の方は「回数は少ないながらも利用したい」と考えています。

利用目的については、南条・今庄地区では約6割の方が「温泉施設の利用」、河野地区では約3割の方が「公共施設、買い物」でもっとも多くなっています。

## ⑤各地域の主な自由意見

### 南条地域

今は利用していないが高齢者には必要である(60歳代女性)、バスの情報をもっと知らせてほしい(70歳代男性)、利用者は費用を負担すべき(70歳代女性)

### 今庄地域

すべて電話予約式にして無駄をなくすべき(50歳代女性)、バスは小型化するとよい(70歳代女性)、南条地域への買い物バスを運行してほしい(80歳代女性)、高齢者は目的地の近くで乗降できるとよい(40歳代女性)

### 河野地域

バスが無くなると困る(80歳代男性)、もっとバスを増やしてほしい(高校生男性)

詳しい調査結果は、町のホームページをご覧ください。  
<http://www.town.minamiechizen.fukui.jp/>